

Sketch Book

キツネ

no. 4

29
1971-2月
1
8日

#02007

Feb 15 1970

4足跡の距離

35-50 cm

ATA 5 45.3

DIN 3 3

4足跡の距離

70-80 cm

~~3足跡~~ 痕跡

30-40 cm

4足跡

4足跡

15 深さ 80 cm

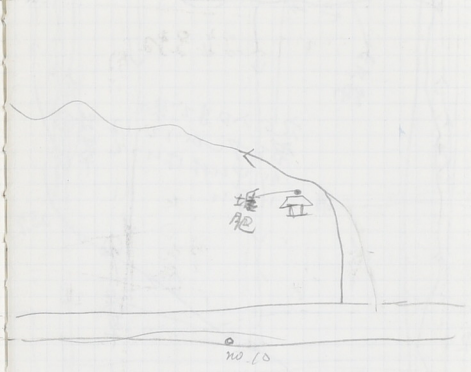
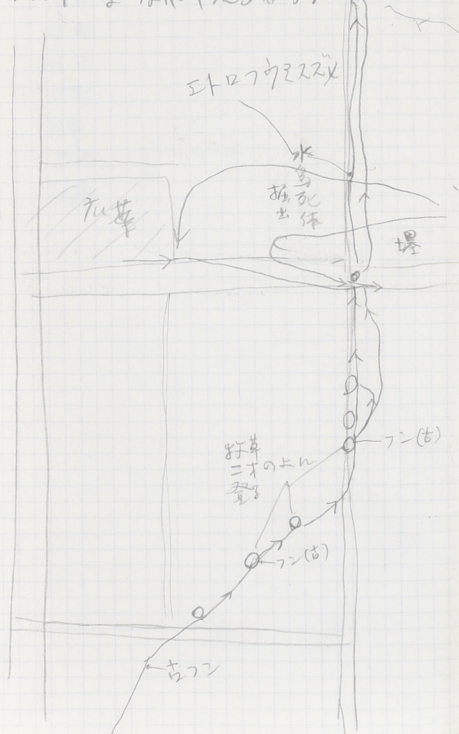
10

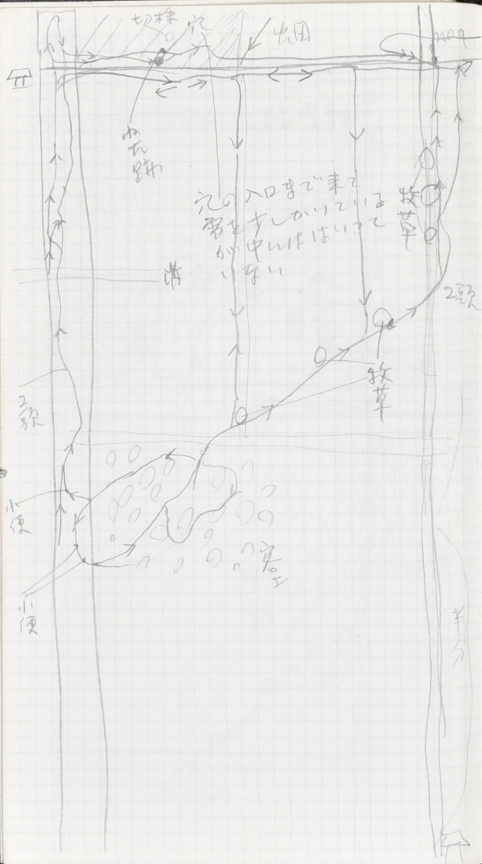
葺園
菅田
土田
石井
北村
川中
西村
伊藤

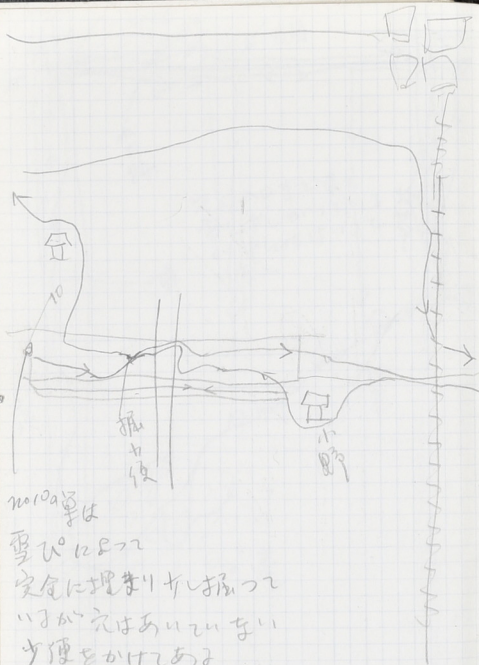
北清十

Feb 13, 1971

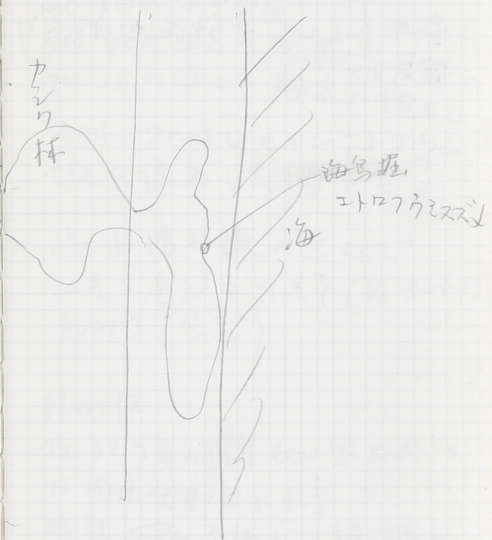
no. 9の草 使用中足跡を記







1000等は
 雪に埋まり
 完全に埋まり
 穴はあいてない
 少雪をかけた



日魯ミンの鈴木氏のキツネ飼育
育ち終るに於て1月末から2月20
日23日まで交尾期に。20日
以後、始めに食物をとらず。
餌を与えてもオシロイをかけると
とらぬ。

小清水町 Mar 10-15 '71
Mar. 11 小清水

no. 32の近くの農家
no. 10の小野氏
no. 40の近くの農家
no. 15の近くの農家
腹巻氏
平野氏
鈴木氏
このフルオレセイントリウ
液を注入した肉を置く。

清水清水駅の近くで
ズキホジョロのネズミ(約300羽)
をみる。(写真)

Mar. 12

no. 32の隣の腹巻氏の家にあつた
肉は全部くたれり
昨夜 ~~子牛~~ 子牛が1頭生まれ
後産が堆肥運搬機でとられて
去り(午前8時頃)とらたので(その夜)
この子牛は死産で近くの埋めること
とす

小清水河

May 11 - 16 1971

May 12 小清水河

晴

18 鳥

足跡 カササギ 4 羽 カワサズビ

1000羽以上 9 羽

45 羽 40-50 羽の群

no. 9 足跡あり 使用済

no. 10 使用中 足跡 通る 鳥あり

♀ 親子 11 羽の群 4 回 呼ぶ

↑ ↑ ↑
(253m 向)

又 ↑ ↑ ↑

no. 5 足跡なし 全く 使用済

12 鳥

no. 19, 20 全く 使用済 ~~21~~

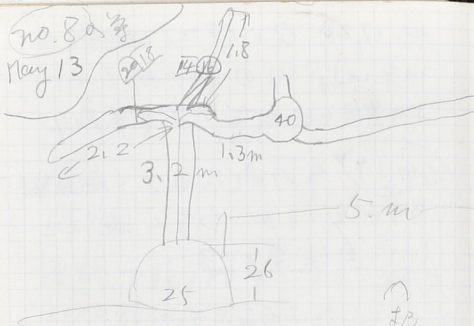
いずれ。下の穴 ~~は~~ および
上の穴 ~~は~~ 木の足跡あり

(no. 17) 木の根 作 跡 あり 足跡 あり

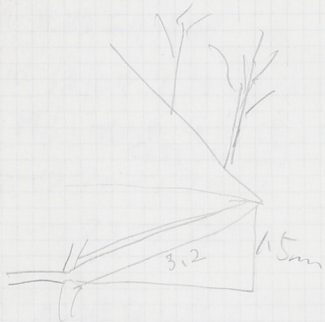
ゆき 4-20 日 か 少くとも 22

1-20 は 雪 ない

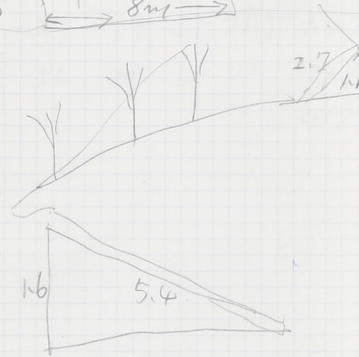
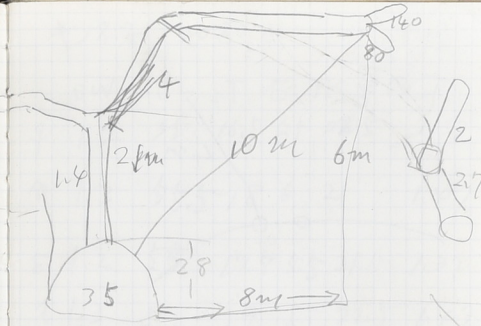
no. 80
May 13



↑
↓
↑
↓
↑

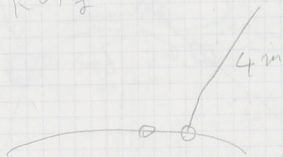


エトワ新らしい肥体(ほぼよくわかる)
7月 出生直後頸部(内体)



エトワ210(5)
トワエ110(5)
ウサチ頭骨(5)
新らしいウサチの頭部
と足

下の葉



キツネ子 2080子

	BW	TL	T	E	HS	
♀	1.2	55	16.5	5.5	22.5	1.37
♂	1.3	55.5	18.6	21		1.47
♂	1.2	55	17.5	5.5	21.5	1.37
♂	1.3	57	19	5.5	22.5	1.47
♂	1.28	56	18	5.5	22	1.45
						0.17

May 14

no. 50

町立牧場の近くの

江戸川井内の新しく築いた2穴
掘り使ったもの 4-5号 24-25号線



no. 29 (丸) 炭焼)

全く空っぽ

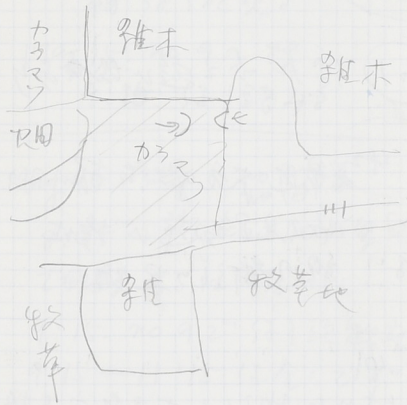
no. 30 全く空っぽの穴の落葉
あり

no. 36 出産 (子かご) の跡の
物あり。=リトリ羽毛

no. 6の近く北へ約500m行った所
の同じ斜面の築 (no. 49)

2穴 (中はいた)

親の新しく掘った穴が2つあり
かへおれ立ち入りして卵が3つは
まの仔を産んでおくとした
おれごごの卵



no. 26

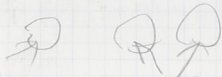
親の新らしい足跡をさがり
穴かき土を新らしく掘り出し
ている(最近)かきの足跡等は
全くなく 卵もありません

no. 1 仔かきの遊んでいる様子あり

no. 42 最近穴かきの土を掘り
出した仔の足跡、遊んでいる
様子 親の新らしい足跡

no. 41

最近の穴かきの新らしい足跡を
掘り出した仔の遊んでいる様子あり



no. 9, 10の巣

May 12 no. 10 観察

May 13 no. 9の観察

朝8時頃 塚2頭と親鳥
1羽あり

May 14 no. 10の観察

朝 5時15分見

no. 8の
仔と同大

May 15 no. 9の観察

9:15 5時15分見

May 15 観察 no. 9の巣
no. 10

8:15-9:10 no. 10の巣に
2親鳥、仔は4羽あり

2親鳥、仔は4羽あり

9:15 no. 9の巣に 1親鳥、1仔あり

9:15-11:15 仔を全くとり

no. 9-no. 10の巣の下の牧草地に
2親鳥を飼育 (12時10分)

2羽2合子

キタケツタヤ 2羽 ヤナギの花を
盛んにくり



× 2羽 ヤナギの花
の新葉のと23で
採食

3:00 no. 9の巣の上で早adか
ねまがって巣を1早か)子4頭
か巢の下の衣坊で遊んでいた。
人が近づくると親はグーンと
いう警戒声を発しそのあとほん
の少しは一面の葉の中を走りまわ
った。
3:30 親再び巢の上の高台に
帰る

May 16

no. 45 土境。あちや一団の遊み
場あり。→7ヶ羽毛が落ち
親は2羽

no. 2

雌鳥 仔は1羽だけあり5羽
→7ヶ羽毛。オオアシトガリ死体
親は2羽

no. 5の巣の右上 ^{↑ 巣を見 (no. 48)}
南向
穴1. 普通穴1 不使用

no. 11 12 13. 全く使っていない

no. 3 木を切られたたの全く
使っていない

no. 15 使つていふから仔をうた
ていふ形跡は少ない

no. 14 新しく土を敷き土を
掘り出してあるか仔はいる
らしい。

no. 40

仔がいる。ガツの足1
ニワトリ科毛多ね

no. 32 全く使つていふなり

no. 33 全く使つていふなり

小清水 ~~June~~ June 30 -
July 1971

~~June~~ June 30

午前 9時 小清水着

June 29日 小雨

no. 9 - 入口に足跡あり 利用中

no. 10 - 足跡ないが入口に比較的
新鮮なフコアリ

no. 2 親 2頭 (成子) と子 2頭

単に帰る。親の 1頭はグエツ

グエツ とほろ (午後 2:30)

子は成子より小さく体長 50 cm ほど

2頭は褐色

その後 4頭は牧草地跡に 2頭は
小川

20. 1, 42 41. 36

no. 1 巣立ちしたらしい

no. 26 巣の一部を掘り小川か
その後 巣を壊つた形跡あり
ほぼ巣立ちしたらしい。
うさぎ (白) 毛あり

no. 9 の上墓場の 2 子 3 頭

2 頭は墓の上のぼろに遊ぶ

夕方 4時 30分 no. 10 の上の道路で

砂止の穴から帰つてくる親 1頭は

これは黒っぽい大きなものをくわえて

あり口から構はみだしていい

ハトの大きなで鳥か ~~母~~ 又は子少

ヤギか

小川家横の牧草地 ^{その後} 川でも個別
の印布か 持ち合中のものをみ

Jul. 1 晴

no. 9 の巣 朝墓場の 2 子 1 頭あり

かたがた墓の上でねている

下の村内に 2 親 1 仔 2 頭あり

朽木の株を掘いた跡あり

no9

5.40分頃 仔4頭 墓場の

2道筋。この2頭 親か
昨日同様。砂丘の方から道筋
上を帰ってきたか、~~再び~~ 戻つば、
ものをくわえてくる。

この仔ぎ→中は朝9時頃か
は墓の上の墓場の方まで
か。その後田が高くなる
林内に移り、~~林内か、林縁の~~
~~の板根の上で~~ ねて、日蔭のほと
んどねている。親も近くにいる。
午後太陽が傾き、林の下の林縁に
田か~~さ~~るやいなると、林縁に
び板根の上でねている。
その時、畑(河か)にも
びてくる。その3時30-4時頃
なると再び墓場の方へ移り
その2頭を~~放~~らしている。

その頃の仔と親は餌を運んで
くる。

Jul 2 晴 風あり

no9
昼間は全くおぼつかず

4:30 墓場の方へ1頭の仔か
おいかつたか 警戒しないでず

5:30 林の下のミヤカイに畑の
へ1頭で

Jul 3 晴

15-16日の12号 路上にてヒツコイ

キツネや親と仔2頭をみる(土管
仔は親よりかなり小さいか
形はほぼ親株。

かうまの林の中へ行きながら

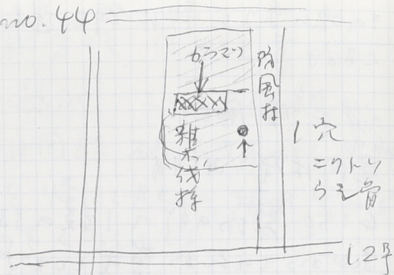
仔は7頭 いるという(農家)



12号

道筋の横に毎日
びて昨日は
菓子をくわ
わらという

no. 44



15号

今年3匹の子がい
てた

平坦地に横穴を掘ったの
上向(南)



no. 45 糞の使用
トグスミ(3匹) 各1羽
トアアシカ(4)
37号 下野

no. 42 糞をば

no. 2 キツ不臭の中...か...1182

15号

Emberiza 羽

ニトリ羽

穴大4

掘りかけ2匹

1971-8-18 殺
博物館飼育 中名

BW. 3.6kg 全

TL 1150

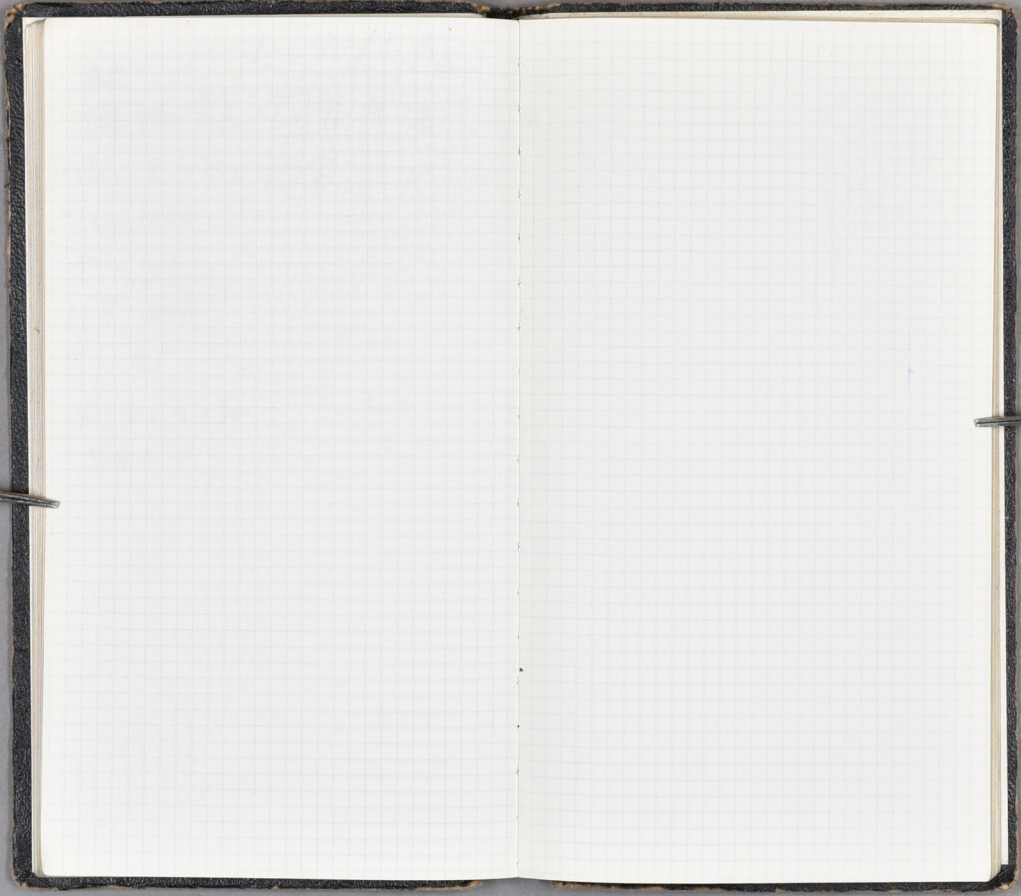
T $\frac{325}{775}$

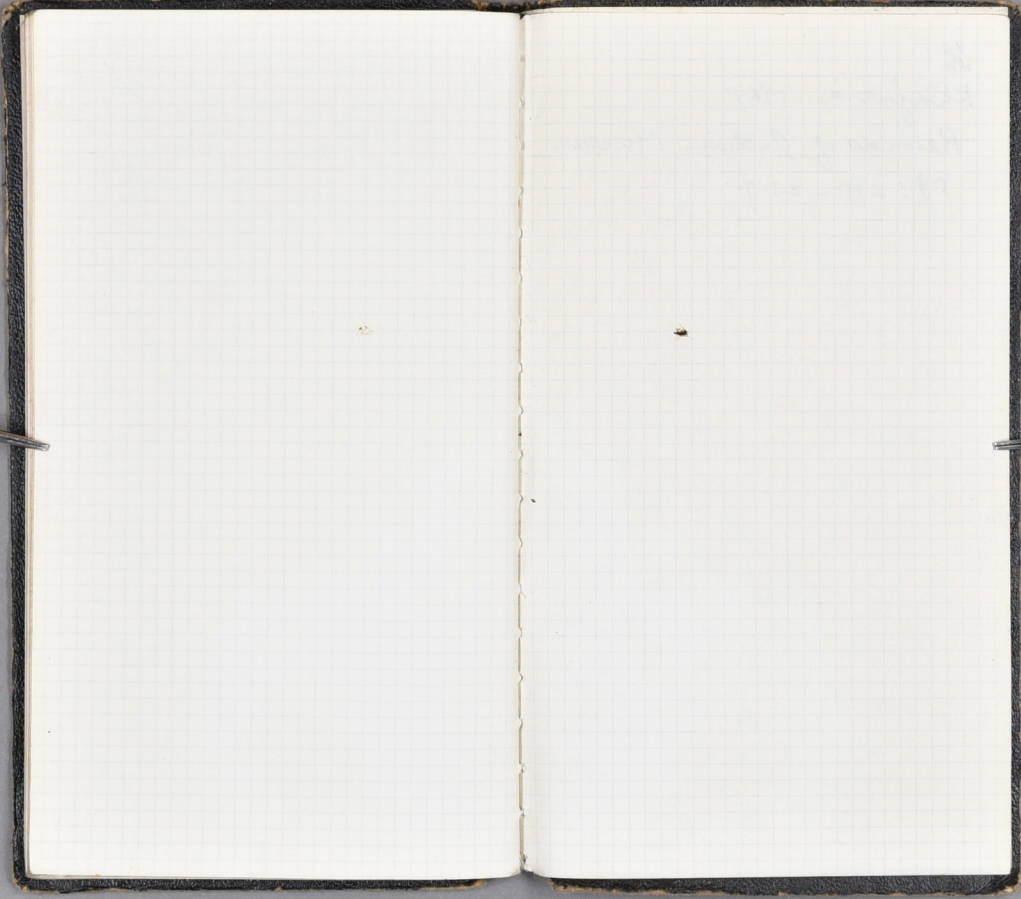
HS. 355

E. 85

胸骨 1330

尾長 410





58

Khajuria 1864

Records of Indian Museum.

59: 235 - 237

